



学校・園の

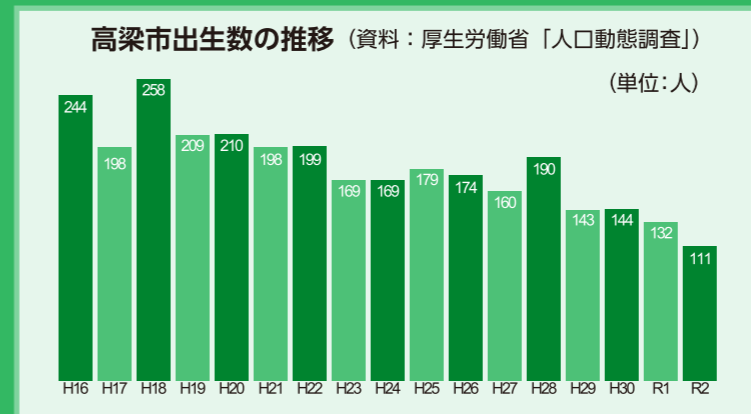
落合幼稚園が閉園

落合幼稚園の閉園は、民間事業者が落合地区に「認定こども園」を令和6年度に開園する計画と併せ、事業者から要望書が提出されたことに伴い、市は就学前教育・保育方針に基づいて落合幼稚園の閉園の方針を決定したとの報告がありました。

議会では3人の議員が一般質問でも取り上げ、計画に反対するものではないが、許認可の申請など具体化がされておらず、利用者や地域への説明が遅れているなどの指摘がありました。また、新たな開園に行政としてどのような支援を行うのか、今後の幼児教育の方向性についても取り上げられました。

再編の在り方を考える!

デジタル化、人口減少 高梁市の教育の在り方をどうすべきか?



出生数の減少に歯止めがかからない現状のなか、有漢地域では、地域が主体となった学校再編が検討され、落合地区では、民間事業者が主体となり、就学前の在り方が変わってきている。

高梁市に生まれ、育つていく子ども達のために何が良いか、どうするべきなのか。

未来の教育を考えるためのキーワード

コミュニティスクール
(学校運営協議会)とは
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営を行っていく組織です。校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、学校運営に関する意見を教育委員会または学校長に述べることが出来ます。このようにコミュニティスクールでは学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となつて特色ある学校づくりを進めていくことを目標としています。

GIGAスクール
ICT技術の社会への浸透に伴って、教育現場でも先端技術の効果的な活用が求められる時代となつています。文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」は社会の変化を受けて小・中・高等学校などで、児童・生徒がパソコンやタブレットといったICT端末を活用できるようにする取り組みのことです。デジタル教科書やAI(人工知能)などで児童・生徒が、個別に苦手分野を学習し今後を生かしていきます。

有漢義務教育学校に向けて

令和4年3月27日、有漢西小学校が150年の歴史に幕を下ろしました。在校生は、令和6年度までの3年間、有漢東小学校校舎でもに学習することになります。

2月の議会全員協議会では、有漢義務教育学校小学校校舎設計図の説明がありました。

3月定例会の一般質問では新校舎(小学部)の教室の広さについて、当初から狭いのは児童数の増加を考えていないのではないかと。既存の有漢生涯学習センター・旧町民体育館等の一体的な活用を考慮すべきではないかと質問がありました。また、有漢中学校校舎も建設から33年を経っており、改修の必要性についても質問がありました。

執行部からは一体的な改修を進めていくとの答弁がありました。今後も地域・保護者の意見に耳を傾けながら、令和7年度の義務教育学校の開校を目指してもらいたいと考えます。

ペーパーレス化に伴うフォローアップ 及びインターネットでの動画配信

議会 ICT 化推進特別委員会

高梁市議会では、ICT化推進の一環としてタブレット端末やグループウェア等のアプリの導入に伴い、令和4年3月議会からは議案や予算書等主な文書以外にPDFで配信されることになり、昨年11月に引き続き、議員同士でのフォローアップを行いました。

また、議会情報の公開、市民に対する説明責任の観点から、インターネットによる動画配信の提案がなされました。県内ではすでに11議会が実施しています。

ケーブルテレビで放送されていることとの関係、議会だよりとの役割分担、一般質問や審議経過の全てを配信するのか、編集すべきかどうか等の課題について検討が行われ、今後も継続して検討することとなりました。

市内教育環境を調査



地域から要望が出ていたスクールバスの乗降場所についてや制服購入の保護者負担について、そして義務教育学校の特色ある教育課程とはどんなものなのかについて担当課からの説明を受けました。

所管事務調査

総務文教委員会

令和4年2月15日委員会室において、2つの項目について総務文教委員会所管事務調査を行いました。

学校現場における感染対策の現状と課題
衛生資材、備品、消耗品の購入について、また感染が確認された時の対応や感染が拡がり学級閉鎖となった時のオンライン授業についての説明を受け、教育委員会との意見交換がなされました。

有漢東小学校と西小学校の統合の進捗状況
地域から要望が出ていたスクールバスの乗降場所についてや制服購入の保護者負担について、そして義務教育学校の特色ある教育課程とはどんなものなのかについて担当課からの説明を受けました。